

# 東雲だより2017

そろそろ花粉が飛び始める季節です。  
皆様早めの対策をこころみましょう。



## 今月のトピックス

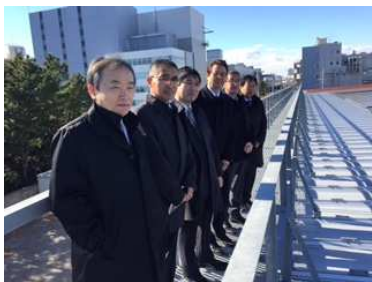
### 木造住宅の耐震基礎知識特集

- ①1月研修会および見学会報告
- ②「木造住宅の耐震基礎知識」特集
- ③荒尾先生寄稿「既存のマンションと新たな生活VI」
- ④ラボ紹介「リリカラ東京ショールーム」



ソニーのプレイステーション体験コーナーを設けました。本格的3D体験ができるとあって大変な人気です。

## 1月研修および見学報告



橋本産業様見学会



パナソニック様見学会



エアコン施工研修



B L R 推進協議会

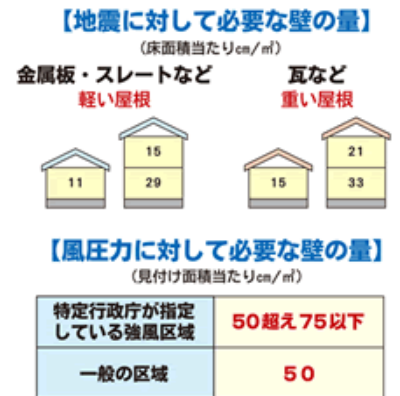
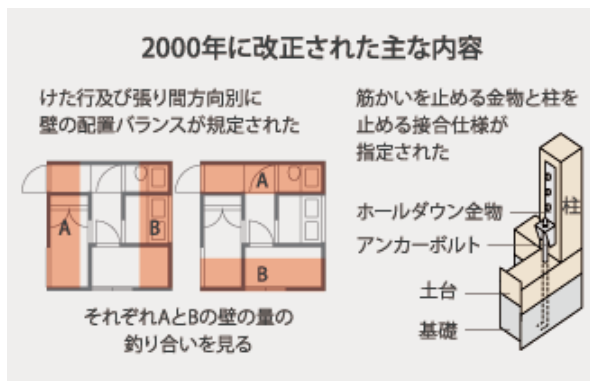
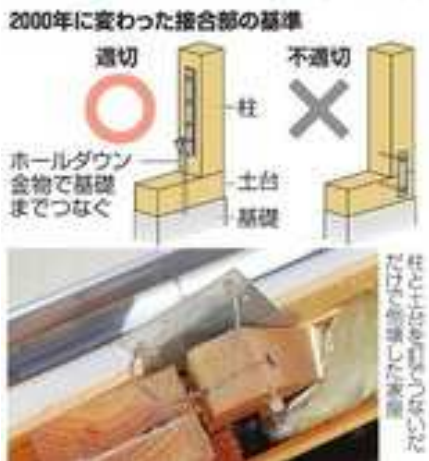
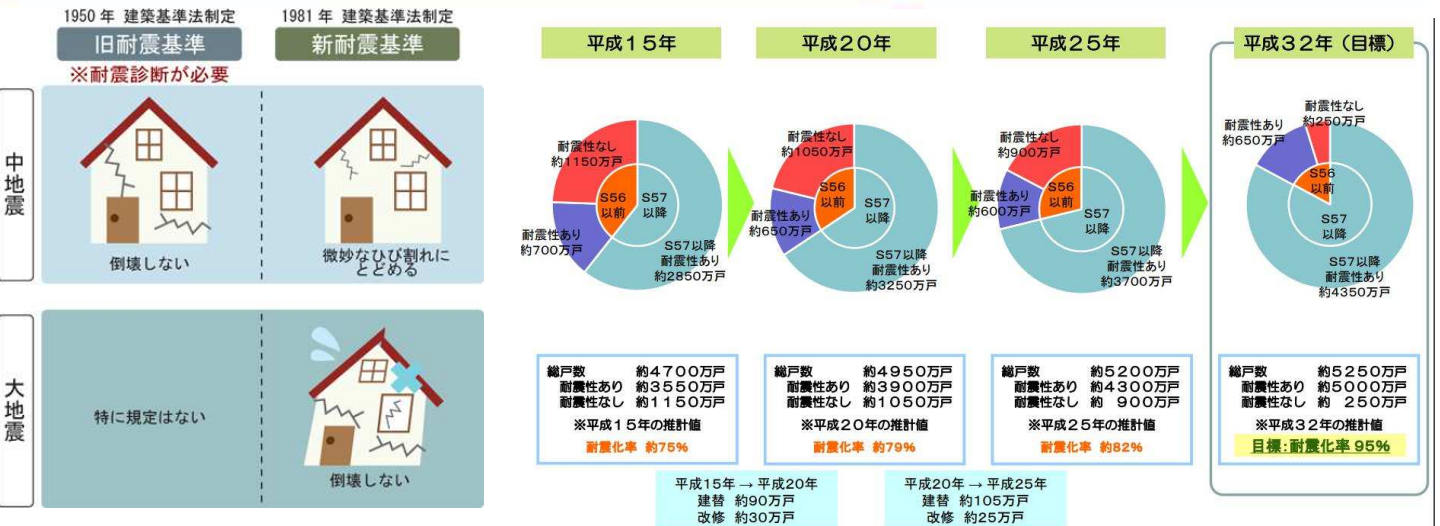
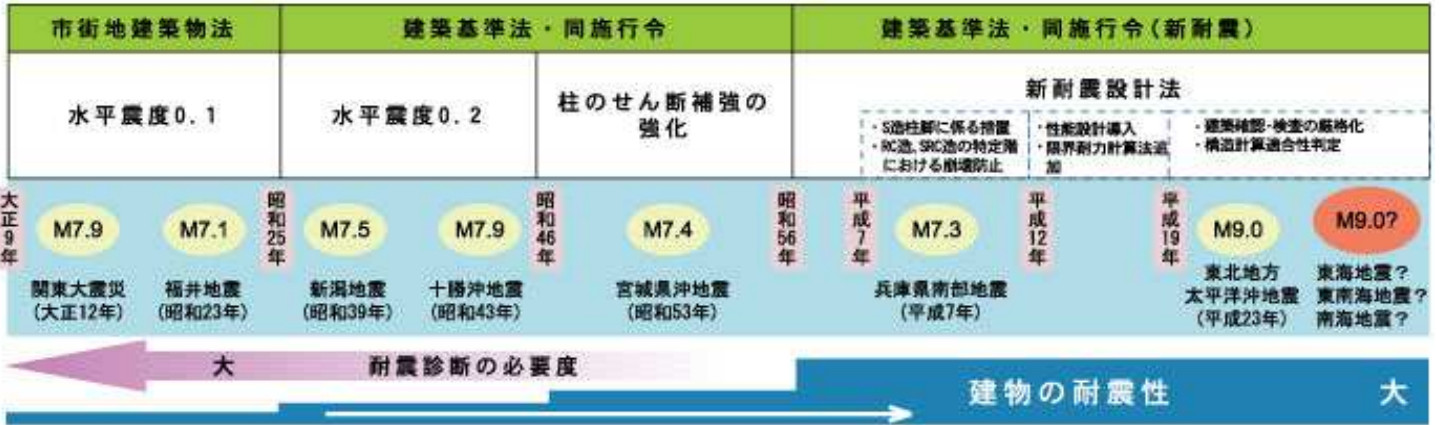
1月研修会、見学会の実績をご報告します

- 1/16 福井コンピューター様レクチャー
- 1/17 橋本産業様見学会
- 1/20 パナソニック様見学会
- 1/24 インストール研修/エアコン施工
- 1/24 T O T O 様見学会
- 1/13 インストール研修/配管接続
- 1/25 B L R 推進協議会様見学会
- 1/27 インストール研修/シスバス現調
- 1/27 T O T O 様見学会
- 1/30 タカシマ様見学会

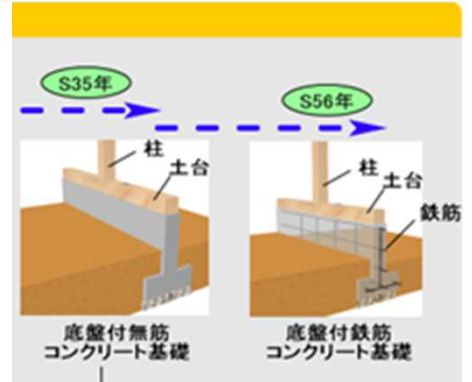
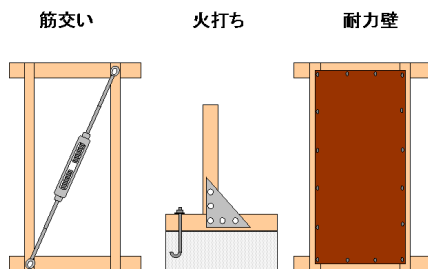
# 「木造住宅の耐震基礎知識」

国土交通省資料より

耐震基準は宮城県沖地震がきっかけとなって、1981年（昭和56年）に建築基準法が改正され、「新耐震設計基準」が施行されました。旧耐震では、震度5程度の地震に耐えられることが基準になっていましたが、新耐震では震度6～7の大地震でも倒壊しない耐震性を求めています。平成25年のデータで耐震性のない旧耐震の建物が900万戸も残っています。新耐震だから必ずしも安心というわけでもありません。2000年には、基準法が一部改正されており、壁の量、筋交いの金物指定、壁の配置バランス、ホールダウン金物の使用等を構造計算の上、施工しなければなりません。



## 木造建物—耐震補強三法



# 「マンションへ住み替えチェック」

## 高齢社会既存のマンションと新たな生活VI

一級建築士 荒尾 博

リフォームではなく、提案型リノベーション……昔ながらのやり方では生き残れない等々、聞くことはあります。商品知識、デザイン力、そして、提案企画力が問われていることは確かです。しかし、高齢者からの依頼では、もう一つ大事なポイントがあります。

### 1. 立場になって考える

人は誰でも歳はとります。しかし、一気に来るわけではなりません。とは言え、緩やかな坂ではなく、階段のようにある日突然感じることもあります。そんな時に「歳」を感じるのですが、それでも若い内は、「あれっ」と思う程度で「疲れているのかな？」程度ですが、中高年になって来ると「歳→古い」と感じるのです。

新聞が読みにくくなったとか、何でもない段差で転びそうになったとか、とっさの動きが鈍くなったなど、その都度、「古い」を感じる機会も増えて行くように思えます。

そういう私も、長年、設計など関わって来ている訳なのですが、それなりの経験から思うことがあるのです。その立場になってとは、施主が高齢者であるということです。もちろん、年齢と体力は異なる面はあります。しかし、老化は確実に進んでいくのです。毎年開かれている「みらい市」でも「うらしま太郎」を装着して80歳前後の高齢者疑似体験するコーナーを設けたりしていますが、おもりを体に付けるだけでなく聴覚、視覚、触覚なども体感できるように装着して歩いたり、階段を上がったり、料理や買い物など経験してみると、多くの方が驚きます。

### 2. リフォームの提案(高齢者が施主の場合)

うらしま太郎を装着するとまず感じるのが、手や足に装着したおもりの重さです。特に足のおもりは重く感じます。実際の足腰の衰えを重さで体験してもらうと言うことですが、アルプスに挑戦した三浦雄一郎氏も、おもりを付けて歩くことで鍛えていたという話ですが、疑似体験終了後、足の軽さに吃驚する時に私は「そうなんだ」と思ったものです。

そして、目は白内障想定、耳栓で聴覚を体験し、手袋で手先の不自由さを感じるのですが、大切なことはこれらの体験を知った上で、リフォームの設計や施工に携わることで、「やさしさ、配慮」は生まれることではないでしょうか？

リフォームに関わる方は、この体験をすることで今までとは違った考え方が芽生えると思いますので機会があればぜひ試していただきたいと思っています。

◆**耳栓**  
高音域を聞きづらくした耳栓をつけることで、老人性難聴に特有な聞きにくさを再現します。

◆**眼鏡**  
加齢によって生じる白内障による色覚変化、ぼやけて見える状態や視野の狭さを再現します。

◆**荷重チョッキ**  
体験者の体重に対比させた重りを入れたチョッキをつけて、加齢に伴う前かがみの姿勢を再現します。

◆**肘サポーター・重り**  
関節を固定して、手首に重りをつけることで、筋力の衰えによっておこる肘関節の緩慢な動きを再現します。

◆**手袋**  
手指の触覚、圧覚、温覚などの低下により、物がつかみにくい、落としやすい状態を再現します。

◆**膝サポーター・重り**  
膝にサポーター、足首に重りをつけ、筋力の低下に伴い、膝関節が動きにくくなる状態を再現します。

◆**靴型サポーター**  
足首の関節を半固定することで、歩く時につま先が上がらず、つまずきやすくなる状態を再現します。

うらしま太郎 **WAC** 長寿社会文化協会(WAC)  
Wonderful Aging Club

インテリアのトップブランド「リリカラ」の東京ショールームに行ってきました。インテリアや内装のリフォームを計画されている方には、最適なショールームです。展示見本の多さに圧倒されました。

壁紙2500点、カーテン1500点、床材500点が展示されています。館内はご自由に見学できますが、スタッフのアドバイスが必要な方は、事前にお電話で予約願います。よりお客様にあった商品選びをサポートいたします。

〒160-8315東京都新宿区西新宿7-5-20

リリカラ本社2F

TEL 03-3366-7824

FAX 03-3366-7469

駐車場はご用意しておりません。

公共交通機関をご利用ください。

営業時間：AM10時～PM6時(土日5時)

休刊日：毎週水曜日・年末・お盆



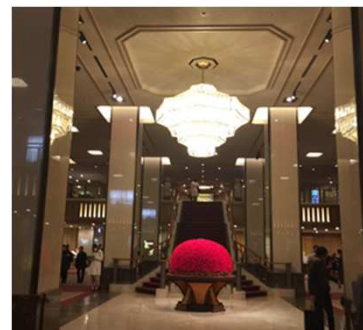
### 東雲だより2月号”編集後記 ☆ドルチェ☆ — 初めてのアフタヌーンティー —

先日大学時代からの友人と初めてアフタヌーンティーを味わいに行きました。場所は帝国ホテルの17階にあるラウンジです。(もちろん割引券という庶民の味方を握り締めてですよ!) やっぱり格式あるホテルのエントランスはゴージャスで、季節によって変わるお花がこの日は真っ赤なバラで飾られていて、ラウンジに着く前からワクワクしてしまいました。こんな大輪のバラ束(?)は初めて見たので。

お目当てのラウンジはゆったりしたソファが並んでいて、座り心地も抜群で、とにかくオシャレ☆座っているだけでとてつもない贅沢な気分になりました。そして軽食&スイーツが運ばれて来たら、ため息しか出ません(笑)1つ1つは小さいけれどとても手が込んでいて繊細で美しく、食べてしまうのが勿体無いくらい・・・。アフタヌーンティーなので紅茶も飲み放題なのですが、どのフレーバーも香りが良くて本当に美味しいんです。日頃はティーパックの紅茶しか飲んでいないので、もうこんな美味しい味を知ってしまったら、庶民の紅茶に戻れないじゃないの・・・(>\_<)



軽食とスイーツ



エントランスのバラ

11時半からゆっくり味わい始めたのに、気付けば15時。こんなに優雅な気分でお茶を楽しんだのは初めてだったので話しも弾んで、つつい長居をしてしまいました。身の丈に合わない贅沢をしてしまったので、また頑張って働かなきゃ!でも、たまの贅沢は幸せなんだな〜って知ってしまったので、機会があったらまた何かのご褒美に楽しもう♪ そう思えたある日の午後でした。

佐藤 深雪

お問い合わせは

## みらいエコリフォームセンター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内  
TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月～金9:00～17:00 土:応相談

●お問い合わせは

TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

